

# そうじの力だより

VOL.222



## 支援レポート

テーマの明確化が、活動をより促進させる  
〜安全は、製造業の二丁目一番地〜

岐阜県の製造業（株）マツバラ。  
鑄造は、鉄の原材料を、キュボラと呼ばれる炉で一五〇〇〜一六〇〇℃という高温でドロドロに溶かし、鑄型に流し込んで製品を作る、「世界最古の工業」です。

同社で十三年前から、弊社のお手伝いにより、「おそうじパワーアップ活動」が行われています。

鑄型は砂を固めて作られるため、工場内は常に粉塵が舞っています。こうした、火花と粉塵の舞う過酷な環境を、「そうじの力」でより安全に、より快適に、よりキレイにしていこう、という活動です。

当然、一般の製造業以上に困難な取り組みです。現場においては、掃いても掃いても粉塵が降り積もってしまいます。各グループごとに、年間の活動計画書を作成し、その計画に従って活動していきます。

また、月に一回、社長と委員長、事務局が現場をくまなく巡回してチェックしているため、そこで指摘された課題についても、改善に取り組んでいくことになりました。

ここでは、リーダーシップやコミュニケーションが大切で、単に根性論で、やみくもにホウキを振り回すのでは違う世界があります。

同社においては、半期に一度、おそうじパワーアップ活動の発表会と表彰式

が行われます。

これは、全社員参加の中、各グループが半年間の活動内容をプレゼンし、

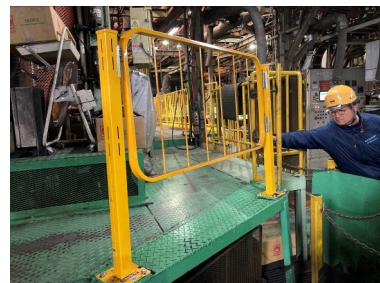
実際の現場の整理・整頓・清掃の状況と合わせて社長など審査員が採点し、上位グループを表彰するものです。

先ごろ、二〇二三年上期の発表&表彰が行われました。

今期、これまでと大きく違ったのは、今年度の活動方針について、松原史尚社長から、「安全」を最重要にして進めるように、テーマ設定がなされたことです。

優先事項

ですが、今回、あらためて、そうじを通じてより安全性を高める方針が示されたので



チェーンに代わって設置された安全柵



全員参加の発表会&表彰式

もとより製造業にとって、安全は最

この方針に従って、各グループが、これまで以上に、自発的で工夫に満ち、有効な活動を展開してくれました。

たとえば、キュボラ係は、ブラットフォームからの転落防止のために、以前はチェーンを張っていたのですが、これを頑丈な柵に換えることで、より安全に作業が行えるようになりました。

大平工場加工係は、在庫品を収める

にある棚に、大地震時の転落防止策として、

トラックの荷造りなどに使

られるラッシングベルトを張りまく

れたらば、頑丈な上に、取り出すときにはバックルを緩めればよいので、便利

また、電算係とISO推進室は、

事務棟の階段でつまづきやすいように、蛍光テープを



地震対策で張られたラッシングベルト



登る時も降りる時も見える蛍光テープ

貼りました。その際、登るときも降りるときも見えるように、かつ、踏んで剥がれないように、貼り方を工夫しました。

今回の表彰でも、もう一つやり方を変えたのは、全社を「現場系」と「事務系」に分けて、それぞれの上位三グループを表彰したことです。

これまでは、現場系と事務系を同じ土俵で採点して順位つけていましたが、現場系は、火花と粉塵が舞い、カバーする面積も広いので、どうしても不利になってしまいます。

今回の改訂で、審査が公平になり、現場のモチベーションにもつながったのではないかと考えています。



表彰されたグループのみなさん

各係の発表も、今までになく熱のこもったわかりやすいプレゼンがなされ、社員の皆さんの前向きな姿勢が見て取れました。

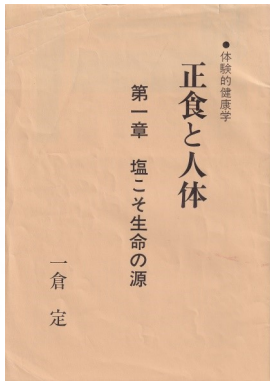
安全の追求に終わりはありません。そうじと安全が一体となったことで、同社の活動は、ひとつ上のステージに入ったのではないのでしょうか。（小早）

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。

## 今月の読書から

『正食と人体』一倉定 著

～塩分不足こそが、体調不良の原因！～



一倉定氏(故人)といえ、高名な経営コンサルタントで、著書も多数あり、私も参考にしている先達ですが、晩年には、食を通じた健康法も説いていました。

内容は、一般常識とはかけ離れていますが、体験談だけに説得力があります。

〈私の行った多くの実験では、自然塩をとると、血圧は見事に、しかも急速に下がってゆく。例外は一つもない。自然塩は高血圧を下げるだけでなく、低血圧は上昇して正常血圧になる。〉

〈ところが、精製塩(塩化ナトリウムの純度が99.5%以上のもので、食卓塩がこれにあたる)をとると血圧が上がる。多くの人が体験していることである。これは、精製塩というのは食物ではなくて有害な

“薬品”だということである。〉

〈卵醤というのは、読んで字のごとし、生卵にタツプリと辛口醤油を混ぜたもので、塩分の緊急補充に使うものである。〉

〈N社にお伺いした時に、N社長はもう一か月もカゼが治らず、薬を飲み、注射をしてもらっているが、サッパリよくなりませんという。「卵醤2～3個で治りますよ」とお勧めした。次回お伺いした時に聞いてみたら、3日もたずにカゼが治り、一か月後にまたカゼ気味だったので、卵醤を一個飲んだら治ってしまったという。カゼグセが悪かったというN社長は、それっきりカゼにはあまり縁がなくなりましたという。〉

〈S建設の部長は、何年間も原因不明の慢性頭痛で悩んでおられた。CTスキャナーで調べてもわからないので、あとは切開してみるより外ないと医師からいわれているという。「そんなの、簡単に治りますよ」と私。いままで何人も治してさしあげている私である。卵醤を飲み、あとは水と果物と甘いものと生野菜をとらないようにという注意である。その朝10時

ごろ飲んだ卵醤で、夕方には頭痛が軽くなったという。そして、3日ほどで治ってしまったというご返事を頂いた。〉

〈S社のH会長は70歳にまだ2～3年ある。もともと寒がり、冬は特に体調が良くないとのことである。夜は何回もトイレに起きるので安眠できない。(中略)私は卵醤をお勧めした。そして、私を含めて4人で卵醤を飲んだ。しばらくすると、会長は「アレッ」と声を出された。全身がポカポカして心地良いという。(中略)翌朝、昨夜の様子をお伺いしたところ、トイレに2回しか起きずに、かなり安眠に近かったという。〉

〈人間の血液中には、0.85%の塩分が含まれている。PHは7.4の弱アルカリ性である。そのアルカリ性とは塩の濃度で決まってくるのである。また、羊水は塩水である。太古の海水とそっくりだという。この塩水の中で胎児が育つのである。生命を次の代に引き継ぐ胎児は、最高の環境の中で育てられるはずだ。それが塩水なのである。右の二つの事実は、塩こそ生命の源である証拠である。〉 (小早)

### 編集後記

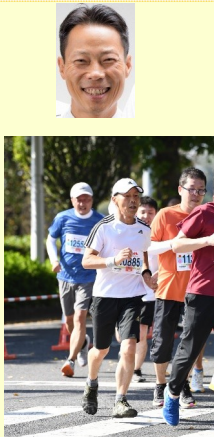
#### 新たなチャレンジ！

先日、ぐんまマラソンの10kmコースに参加し、目標の1時間を切って、58分03秒でゴールできました。

もともと走るのが苦手で、なるべく走るのを避けてきた私ですが、思うところあって、5月頃からジョギングをはじめ、それなりに走れるようになってきました。

そんなわけで、2023年は私にとって、新たなチャレンジに取り組んだ一年でした。

2024(令和6)年も、ワクワクすることに、たくさんチャレンジしたいです。どうぞ良い年になりますように！(小早)



### 飛鳥のつばやき

#### 帰ってきた居候

先月我が家に現れ、少しの間同居した後、玄関からササーッと逃げていったアシダカグモのレインボー(前号参照)。

12月に入ったある日、家族で外出から帰ってきて玄関ドアを開けたその時。

どこからともなく現れ、「待ってました！」と言わんばかりに誰よりも早く家に入り、慣れた足取りでリビングに向かい、壁によじ登って一休み。もう家族じゃん(笑)。

今年も1年お世話になりました。良いお年をお迎えください。(大槻)



## 株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、  
日本で唯一の研修会社

弊社は“そうじ＝環境整備”を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)